

2022年6月3日(金) 第2876回例会 形式:対面 天候:晴れ 合唱:君が代、それでこそロータリー、四つのテスト

会長 室伏学 幹事 望月博文

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内 TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

室伏学

5月30日に木村ガバナー補佐からお電話をいただきました。田島ガバナーからのご連絡によると、新しい「かながわDEIロータリークラブ」に関して、第9グループを断念なさり、第3グループへの編入が正式に決まったそうです。また、6月27日の認証状伝達式は鎌倉プリンスホテルで開催されるとのことです。事務局の所在地や例会場は今なお不明ですが、お願いすべきことは既にお願ひしてあります。ここから先は神谷会員と小倉会員の人間性や良識の問題と思いますが、出来る範囲で注視して参りたいと考えております。何か新しい情報があれば、皆様にお知らせいたします。

さて、今回も国際奉仕委員長会議の内容について、続きをご報告いたします。今回で4回目です。認定NPO法人 難民支援協会の方からの「日本の中の難民問題」への取り組みについてです。難民として逃れる理由としては、民主化活動への参加、改宗(宗教を変えさせられる)、性的マイノリティである、反政府活動をしているグループと同じ地域に住んでいる、紛争など、一人ひとりに背景があります。日本での難民申請の数は2017年の実績で19,629人、難民認定されたのは20人と、とても狭き門になっています。また、日本の難民認定申請の待機期間は平均4年4か月だそうです。また、難民申請時に在留資格があればよいのですが、難民申請の時点でオーバーステイであれば、在留カード、住民登録、就労許可、国民健康保険など、いずれも取得できず、収容の可能性もあるそうです。難民支援協会は難民の尊厳と安心が守られ、ともに暮らせる社会へ向けて、法的支援、生活支援、就労支援、コミュニティ支援、政策提言、広報活動に取り組んでいます。国際奉仕の活動も様々であることを理解するとともに、尊敬に値する活動だと感じております。

話は変わりますが、来週6月10日は、移動例会の家族親睦会(日帰りバス旅行)です。つまらないことは忘れて、大いに楽しんでいただきたいと思います。

幹事報告 連絡事項 なし

出席報告

会員	25名	出席率	81.82%
欠席	7名	前回の修正出席率	65.22%
(免除者)	3名	前々回の修正出席率	83.33%
ゲスト	4名	事前メイクアップ	2名
ビジター	0名		

ゲスト 湯河原町 地域政策課企画係 係長 木村修太 様
湯河原町 地域政策課企画係 主事 駒谷啓太 様
ガールスカウト神奈川県連盟第9団 長田由美 様
ガールスカウト神奈川県連盟第9団 常盤恵子 様

スマイルBox

室伏学君
湯河原温泉旅館協同組合2期目の理事長と湯河原町防火安全対策協議会会長に就任いたしました。

青木義美君 人手も機械もなく、例会2度欠席すみません。

西山敦君
6月1日、フジテレビ「ノンストップ」で五所神社と楠が放映されました。

石川浩子君
結成35年の熱海コンパニオン協会の商標が「熱海・湯河原コンパニオン協会」に変わりました。

ポール・ハリスフェロー



櫻井武志君

助成金授与



ガールスカウト
神奈川県連盟第9団



皆様こんにちは。今日は湯河原四季彩のまち出前講座として「SDGs～私たち一人ひとりの行動が、未来につながる～」についてお話いたします。

1. MDGs から SDGs へ

さっそくですが、「SDGs」とは何の略語でしょうか。正解

は「Sustainable Development Goals」、持続可能な開発目標の略語です。日本語の「ゴール」と英語の「Goals」は意味合いが若干異なる点が少し難しいところです。この SDGs ですが、その由来は「MDGs(ミレニアム開発目標)」に遡ります。1990 年代に開催された主要な国際会議や、サミットで採択された国際開発目標を統合し、ひとつの共通の枠組みとしてまとめたものが MDGs(ミレニアム開発目標)です。MDGs は開発途上国の貧困削減を掲げ、8 つの目標、21 のターゲット、60 の指標が設定された国際目標です。MDGs のほとんどの目標は 1990 年を基準年、2015 年を達成期限としていました。実際に MDGs はその取り組みによって、極度の貧困状態にある人口割合を半減させるなどの大きな前進を見せ、世界の多くの人々の目を、開発途上国が抱える課題に向けることに貢献しました。そして 2015 年、それまでの MDGs に代わる目標として、国連にて 2030 年までの新たな開発目標となる「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。

2. SDGs の 3 つの要点

SDGs の要点として、ここでは 3 つを挙げたいと思います。

① 世界が共通して取り組む目標

SDGs は、2015年9月にニューヨークの国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」にて採択された、世界共通の目標です。SDGs は国連加盟国193カ国の全会一致で採択され、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指しています。そのため、開発途上国や先進国といった区別なく、すべての国で協力して取り組むものです。しかし国や地域が異なれば、直面する課題も異なり、社会状況が異なれば、取り組む課題の優先順位も異なります。

② 「ゴール・ターゲット・指標」で構成

SDGs と聞いて、カラフルなアイコンを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。そのアイコンで示されているように、

SDGs は「貧困をなくそう(ゴール 1)」や「飢餓をゼロに(ゴール 2)」といった 17 のゴールが設定されています。これらのゴールは非常に抽象的な印象がありますが、より具体的に示した 169 のターゲットも設定されています。ターゲットには、目標年限や対象、そして実施手段などが示されており、どういったことに取り組みればゴールを達成できるのか、ある程度明確にイメージすることができます。

③ 達成期限は 2030 年

SDGs は、2016 年から 2030 年までの 15 年間を対象としています。つまり、2030 年には 17 のゴールで示された理想の姿を実現させなければなりません。しかし現時点(2022 年 6 月)で、SDGs の対象期間の半分以上が過ぎました。2020 年 3 月に朝日新聞が東京・神奈川を対象に行った調査によると、SDGs の認知度は 32.9%となっていますが、SDGs は 3 割程度の国民だけで取り組んで達成できるような性質のものではなく、認知度も含めて道半ばといえます。

3. SDGs17 のゴール

SDGs17 のゴールは大きく3つ(ゴール1～ゴール6:途上国の基礎的な目標、ゴール7～ゴール12:先進国や企業の課題、ゴール13～ゴール17:地球規模のグローバルな課題)に分類できます。詳しくはお配りした資料をご確認ください。なお SDGs 制定後の世界的な出来事としてコロナ禍がありますが、実際にコロナの影響によって、目標達成に負の影響が生じているもの(例、ゴール1:貧困をなくそう→コロナ禍で貧困層が増加、など)が見受けられるとのこと。ただし一部は経済活動の減少による影響で、むしろ大きな前進をみた項目(例、ゴール13:気候変動に具体的な対策を→生産活動減少に伴う温室効果ガスの減少)もあり、SDGs にとってコロナ禍がすべて逆風であったと言い切れないことも付け加えておきます。

4. SDGs の取り組み

湯河原町における SDGs の取り組みとしては、湯河原に興味を持たれた横浜市にある中学校が「SDGs ロゲイニングマップの作成」による地域活性化を提案しています。また湯河原町では町内の小中学生に 1 人 1 台のタブレット端末を配布し、その通信料を町が負担するという施策をとっていますが、これは「ゴール 4:質の高い教育をみんなに」「ゴール 9:産業と技術革新の基盤をつくろう」に資するものと考えられます。身近なところに SDGs の活動やヒントは転がっており、私達はこういった活動が SDGs に貢献するか、注意深く観察しながら日々の活動を続けていくことが重要と考えています。

以上です。ご清聴ありがとうございました。

(編集 6月会報担当:常盤孝司/クラブ会報委員会)